

# 顔・心・体

通巻 53号 2019年度  
公益社団法人顔と心と体研究会  
会報誌

【藪内 佐斗司 先生 ご寄稿】

当法人の顧問で彫刻家、東京藝術大学大学院教授の藪内佐斗司先生からご寄稿いただきました。

## 顔と心と体に寄せて

「顔について」

彫刻家である私は、面差し（おもざし）にもっとも興味があります。面差しは、眼差し（まなざし）である瞳や眉、そして口許など顔の造作すべてが微妙に関連しながら、ひとのこころのありようを外界に伝えます。だからこそ顔を造ることは、こころを表現することにほかなりません。もちろん顔以外の身体にもさまざまな感覚器官があり、それに反応する手足や体の諸器官を動かす「こころ」を分析し解釈した仏教思想のダイジェストが「般若心経」です。身体的センサーである「六根（眼耳鼻舌身意）」が、外界からの刺激に反応して「六境（色聲香味触法）」を感じて、六識という認識作用が起こる、その一連の繰り返しが、生きるということだと説いています。

「体について」

私たち人類は、母胎のなかで胎児を育てることは周知の通りで、「胎」ということばは、子宮の内部のことです。体内は生命体の内部という意味ですが、胎内はその中に排卵された卵子が受精し胎生を育てる胞衣などのことです。そして子宮の内部は、母性の体内ではなく外界と同じです。もし子宮が体内であったら、そこに紛れ込んだ精子は、病原体などと同じように免疫作用であつというまに殺されてしまいます。その意味では、魚類の雌が水の中で産卵し、雄が射精をして受精させるのと本質的には同じことだとわかります。ですから消化器官や呼吸器官、生殖器官というパイプ状のものに、様々な臓器が発達して付け足されたものが生命体だと言えます。たとえば、鼻腔や口腔、そしてその先の食道や胃袋や腸、気管や気管支、あるいは肺胞のなか、また女性の膣内は、みんな肉体に包まれた外界です。したがって、胎生であろうが卵生であろうが、また脊椎があろうがなかろうが、人類も他の生物と同じく、外界を体内に取り込んだ管に過ぎません。



藪内先生制作ブロンズ像「守銭童子は見ている」

藪内 佐斗司（やぶうちさとし）

彫刻家、東京藝術大学大学院文化財保存学教授、同学副学長

公益社団法人 顔と心と体研究会 顧問

1953年、大阪生まれ。若い頃に携わった仏像の技法材料研究と修復の経験を活かした独自の技法で多くの彫刻作品を制作。2003年、「平櫛田中賞」受賞。2004年、現職に就任。2010年に開催された平城遷都1300年祭の公式キャラクター「せんとくん」を制作。さまざまなメディアを通じて展開する仏教や仏像、文化に関するわかりやすい解説には定評がある。『壊れた仏像の声を聴く』（角川選書）ほか多数の著作がある。

（→2ページ目につづく）

## \* Contents \*

|                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 表紙～P.2 藪内佐斗司先生 ご寄稿     | P.4～5 マンタルメイクセラピスト®検定3級・4級 |
| P.2 社員総会報告             | 試験実施のお知らせ                  |
| P.3 1級者研究会のお知らせ        | P.6～7 調査研究事業報告             |
| マンタルメイクセラピスト検定テキストについて | P.8 メイクボランティア募集要項          |

(→表紙からのつづき)

細菌やウイルスなどが傷口から体内に侵入した場合、増殖するのを止め死滅させようと白血球が激しく攻撃します。これにともなう発熱や痛みや化膿などの生体反応は病気の症状であって、病の本質ではありません。健全な状態で外界から体内に異物が入り込むのは、呼吸器を通じた空気や、消化器官で分子レベルにまで消化された栄養素であって、それより大きなものは細胞膜を物理的に突き破って侵入する以外には入り込めません。そのバリア機能が、肉体と外界を分けています。そして、そのバリアが機能しなくなった時が生命体の死であり、肉体は直ちに腐敗変敗という外界との同化作用が始まります。この過程の不可逆的で醜悪な様を、宗教では地獄と表現したのだと思います。やがてすべては分子レベルにまで分解され、外界と同化されますが、宗教者はこの状態を昇天や成仏、往生、輪廻などと呼んだのです。

「心について」

ではここはどこへ行ったのでしょうか？「心」という字は「しん」と読みますが、「神」「真」「信」などとおなじく眼には見えないけれどとても大切な「こと」を意味します。しかし、人類はいまだにここの本質を宗教的にも科学的にも完全には解明できていません。仏教の唯識思想では、「三界唯一心 心外無別法」といって、この世のすべての事象現象は、ただここのみが生みだしていると説きますが、その「心」については「阿頼耶識（あらやしき）」という最高度の意識を想定して明言を避けています。

さて昨今話題の AI は、分析能力という知能の一分野を電気信号として異常に発達させた装置ですが、はたして感性や創造性を持ったところを獲得する日がくるのでしょうか。その質問は、生命体がおのれを超えるものを創り出すという「神」や「仏法」の領域に迫る能力があるのかという宗教的命題を問うことになるでしょう。

「顔と心と体研究会」とは、まったく大それた名前の研究会だと思います。本研究会が扱う分野は広大で、その可能性は決して尽きることはないと思います。本研究会の今日的意義は大きく、ますますの発展を期待しています。

## 令和元年度社員総会 開催報告

令和元年度社員総会を下記のとおり開催し、すべての決議事項が承認可決されましたので、ご報告いたします。

当日お忙しい中ご出席くださった皆様、及び理事会提案にご賛同いただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

- ◆日 時◆ 令和元年 6 月 21 日（金） 18：15～19：00
- ◆場 所◆ REIKO KAZKI 本社（東京都新宿区左門町3-1 左門イレブンビル4階）
- ◆報告事項◆平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業報告の内容報告の件
- ◆決議事項◆第1号議案 平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）  
計算書類及び財産目録承認の件

会員限定！！

## メンタルメイクセラピスト®1級者研究会

### 一般聴講参加者募集のお知らせ

メンタルメイクセラピスト®検定1級者による研究会では、メンタルメイクセラピスト®として活躍するために必要な知識を得る機会として、年2回程、講師を招いてのセミナー（勉強会）を開催しております。

この度、10月に開催します第2回の1級者研究会のセミナーでは、1級者だけでなく、顔と心と体研究会の会員の皆様にも聴講していただくことができるようになりました。

専門家の講義を、少人数で聴くことができるめったにない機会となっております。

これからメンタルメイクセラピスト®を目指す方だけでなく、興味がある方は、是非ともご参加をお待ちしております！

日時：2019年10月21日（月） 13:30～15:30（13:00より受付）

開場：西新宿（ラ・トゥール・新宿 コミュニティルーム1）

定員：20名

参加費：正会員：3,000円 / 協力会員：無料

講師：鈴木 雅也 博士（東海光学株式会社 脳科学推進室 副主幹）

スケジュール：13時～ 受付

13時30分～14時30分 鈴木雅也博士による講演

『開眼時「つらさ」：客観評価開発と極薄粘着テープによる眼瞼痙攣テープ施術の効果評価の試み』

（日医大眼科・東海光学・かづきれいこの共同研究の成果発表）

14時30分～15時30分 1級資格者による症例報告

問合せ・申込：メール、FAXまたはホームページより事務局までお申し込みください。

申込締切：9月30日（月）まで ※定員になり次第締め切ります。

## メンタルメイクセラピスト®検定公式テキスト(実技編)発売中！

### 【テキストの内容】

このテキストは以下のような内容から構成されています。

- 顔面の骨格・筋肉・血液とリンパの流れ・皮膚構造など、メイクのための基礎知識
- 自分のためにするメイクのテクニックと肌悩み別のアプローチ
- 他者へのメイク指導のためのコミュニケーション・メイク技術・特定の肌悩みへの対応
- 化粧品及び関連法規の知識

ご本人のためのメイク・他者へのメイク指導のいずれの目的にも対応する内容が盛り込まれています。

このテキストは、メンタルメイクセラピスト®検定4級から2級までの実技（実践）の部分に対応しています。

### 【ご購入申込み】

Amazonにて販売を行っています。

当法人に発注する場合は、ホームページよりお申込み下さい。

※送料360円(2冊まで)＋振込手数料のご負担をお願いいたします。



B5版・128ページ

価格：3,600円＋税

出版元：株式会社ワニ・プラス

発売元：株式会社ワニブックス

著者：公益社団法人顔と心と体研究会

# メンタルメイクセラピスト® 検定

メンタルメイクセラピスト®検定3級・4級試験を以下の通り実施します

|      | 4 級                                 | 3 級          |
|------|-------------------------------------|--------------|
| 試験地  | 東京・大阪(※1)                           | 東京(※1)       |
| 定員   | なし                                  | 30名(先着順)(※2) |
| 応募期間 | 7月26日(金)から9月27日(金)まで(当日消印有効)(※2)    |              |
| 応募方法 | メール、郵送、当法人ホームページの申込みサイトからお申し込みください。 |              |

(※1) 詳細な試験場所につきましては、受験票でお知らせします。

なお、2回目の3級試験は、大阪にて来年5月頃を予定しています。

(※2) 応募申込を完了し(同意書の提出を含む)かつ受験料支払を完了した者について先着順。

定員に達したときに、受験者募集は終了されます。

※ 詳細は当法人ホームページ掲載の受験要綱でご確認ください。



## 4 級 ・ 3 級 試 験 受 験 要 綱 比 較 表 ( 抜 粋 )

|       | 4 級                            | 3 級   |
|-------|--------------------------------|---|
| 試験の目的 | 自分の顔にメイクをするための正しい知識をもっているかどうか。 | 外観に悩みを抱える第三者からその悩みやメイクに関する希望を適切に聞き取り、当該第三者が満足できる外観を得られるよう、メイク技術の講習・指導を行う知識と技術をもっているかどうか。  |
| 受験資格  | メイクに関心のある方ならどなたでも受けることができます。   | メイクに関心のある方ならどなたでも受けることができます。ただし、試験内容及び合格基準からみて、化粧サロン等で1年以上勤務した経験がある方、メイクに関するカルチャーの講師を2回以上経験したことがある方、医療機関や介護施設で患者や高齢者の外観のケアができる方、又はこれらと同等の条件を満たすことができる方を主な対象にしていることをご理解ください。 |
| 試験日時  | 11月9日(土)9時30分～11時05分           | 11月30日(土)13時00分～17時35分(※3)  |
| 受験料   | 3,000円+税(3,240円 ※4)            | 6,000円+税(6,480円 ※4)   |



|      |           |   |  |
|------|-----------|---|--|
| 筆記試験 | 試験範囲      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メイクを行うための顔や肌の構造や質についての知識</li> <li>・スキンケア・ベースメイク・眉メイク・アイメイク・リップなどのメイク技術に関する知識</li> <li>・肌悩み別のアプローチに関する知識</li> <li>・化粧品とその関連法規に関する知識</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メイクを行うための顔や肌の構造や質についての知識</li> <li>・スキンケア・ベースメイク・眉メイク・アイメイク・リップなどのメイク技術に関する知識</li> <li>・肌悩み別のアプローチに関する知識</li> <li>・他者へのメイクアップ指導に関する知識</li> <li>・化粧品とその関連法規に関する知識</li> </ul>   |
|      | 問題数       | 35 問  | 50 問   |
|      | 試験時間      | 60 分  | 60 分   |
| 実技試験 | 試験内容と評価項目 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の外観上の主観的・客観的なマイナス部分を、どれほど相手が満足できるレベルまで引き上げたかという観点から、メイク技術を評価します。</li> <li>・評価項目は、①スキンケア、②肌づくり、③眉、④ポイントメイク、⑤メイク全体の大項目をさらに分割した 20 の各項目について、4 段階評価します。</li> <li>・相手の外観上の悩みやメイクに関する希望・目標等を聞き取るための、メイク施術前・施術中・施術後のコミュニケーションについても評価します(4 項目 4 段階評価)</li> </ul> |
|      | 試験時間      |   | ヒアリング 10 分・メイク 40 分  |
|      | 条件        |   | 試験当日、事務局により決定され、ペアとなった他の受験者に対してメイクを行います。他の受験者との相メイクを行うことに関して、同意書を提出していただきます。一定の条件下では、相メイクの相手方にならないことを認めることがあります。   |
| 配点割合 |           |   | 筆記試験 29% (50 点満点)<br>実技試験 71% (120 点満点)  |
| 合格基準 |           | 28 問以上正解すること  | 実技・筆記の合計点数(170 点満点)の 70% (119 点)以上を合格とします。ただし、実技試験の点数が 69 点未満又は筆記試験の点数が 28 点未満のときは、不合格とします。  |
| 注意事項 |           |   | 資格者の肩書について、営業活動に使う名刺に表示できないなどの制限があります。   |

(※3) 試験時間は受験者数によって変動します。最終的なタイムスケジュールは、応募期間終了後に確定され、受験者に通知されます。

(※4) 2019年9月30日まで有効

# 社会的支援を必要とする高齢者のメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み

当法人の調査研究事業の1つとして「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」を、文化学園大学 応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信准教授との共同研究として、平成27年4月より行っております。

これはメイクボランティアに参加したメイクの施術者（大学生）について、アンケート調査により、メイクボランティア提供の前後における生きがいや自尊感情などの変化について考察し、またメイクを受けた高齢者については、センシングデバイス（感知器具）を用いて感情の変化を数値化し、メイクの与える効果について考察するものです。

7月に、これまで3年間にメイクボランティアを通じて収集したデータに基づいて1回の訪問における高齢者へのメイクの効果について成果がまとめられ、「ファッションビジネス学会誌」に掲載されましたので、そのダイジェスト版を以下にご報告いたします。

## 表情表出の測定による高齢者へのメイクアップの有効性の検討

文化学園大学 佐藤 浩信

高齢者福祉施設では、国の指針に基づき最期まで個人が尊重される暮らしと、尊厳が保持された自立生活を支援するサービス提供が期待されています。また、日常生活において高齢者へ何らかの介入を行うことで行動変容を促し、高齢者のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を目指す研究も多数報告されるようになりました。今回、高齢者福祉施設で行われるメイクの意義と有効性について、メイク実施前後で表出される表情の測定を通して検討を試みました。

表情と感情に関する研究は70年代から見られ、Ekman, P. 等により表情は「幸福」「悲しみ」「驚き」「恐怖」「怒り」「嫌悪」の6つの基本情動に分類できるとされてきました。この考えを源泉とする様々な研究により、表情は文化に依存することなく生得的な基盤の上に普遍的な特徴をもつ、と理解されています。そこで本研究では、高齢者が表出する表情を「悲しみ」「怒り」「驚き」「喜び」「真顔」の5成分で評価できる小型デバイスを用い、各成分の表出量からメイク前後の感情の推定を試みました。このデバイスは、高齢者が表出する様々な表情を0.25秒ごとに上述の5成分を捉え、各成分の特徴を数値化できるため、身体的にも心理的にも負担をかけずに測定できます。言語表現が苦手あるいは発語を嫌う高齢者においては、言語で尋ねることなく僅かな表情の変化を捉えて「今の気分」の推定が行えるため有効な手法となります。今回このデバイスをノート型コンピューターに組み込み、メイクを行う前と後の高齢者の表情を一定の手続きで測定し、得られた数値から高齢者の感情や気持ちを推定し、メイクの有効性について考察を行いました。

解析の対象は、2017年度に実施した福祉施設でのメイクボランティア時に、メイクを求めて来られた高齢者の皆様14名です。測定はメイクを行う前と後とし、メイク開始前の施術者との挨拶や会話を通じたコミュニケーション時の表情と、メイク後に自身の鏡像を確認した直後に生じる急激な気分の高揚が落ち着き退席する直前の表情としました。高齢者の方々から3メートル程度離れた位置から、同一の角度と高さを保ち計測します。捉えた表情はデバイス内で5成分の数値データに変換されますが、個人を識別できる顔画像は用いない等、プライバシーへの配慮も留意のうえ実施させて頂きました。

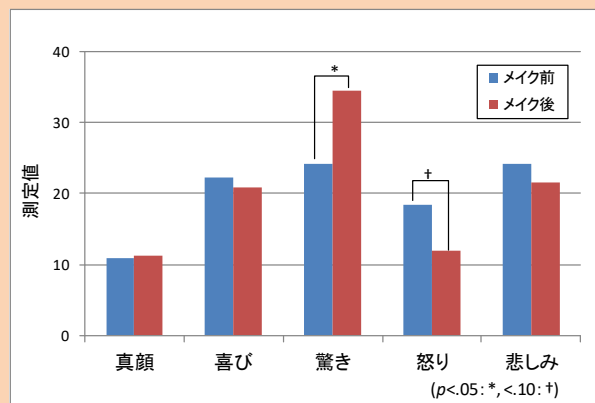


図1. デバイスによるメイク前後の表情成分の比較(平均値)

さて、デバイスを用いたメイク前後の表情成分の量的な変化をみると、「驚き」の上昇 ( $p < .05$ )、「怒り」の減少 ( $p < .10$ ) が認められましたが、「喜び」に有意な変化は認められませんでした。メイク前後の表情成分の増減率をみると、「驚き」は 1.43 倍、「怒り」は 0.64 倍、「悲しみ」は 0.88 倍となりました。また「喜び」成分については、メイク前と後の間で有意な正の相関 ( $p < .01$ ) が認められ、メイク前の表出量の多い人は、メイク後の表出量も多く、メイク前の表出量が少ない人は、メイク後の表出量も少ないようです。デバイスでの評価では、メイク後のポジティブな表情成分の上昇は認められませんが、「怒り」「悲しみ」のネガティブな成分の減率、特に「怒り」成分の減率は顕著でした (図 1)。

次に、メイク施術者 (行った人) に VAS を用いた主観的印象評価を求めたところ、「喜び」「驚き」においてメイク後の有意な上昇が認められ ( $p < .001$ )、変化率も大幅増となり、デバイスを用いた評価とは異なる結果となりました。一方、「怒り」「悲しみ」などネガティブな表情は、メイク前後で有意な変化は認められませんでした。施術者がもつ表情の主観的印象は、明朗な表情へ意識が向いた評価と思われ、ネガティブな表情の変化は掴みにくいようです。メイク後の驚く姿を確認しながら、施術者ならではの前向きな関わりの意識と、対象者への「激励」「尊厳」の気持ちが強く反映されたものと思われます (図 2)。

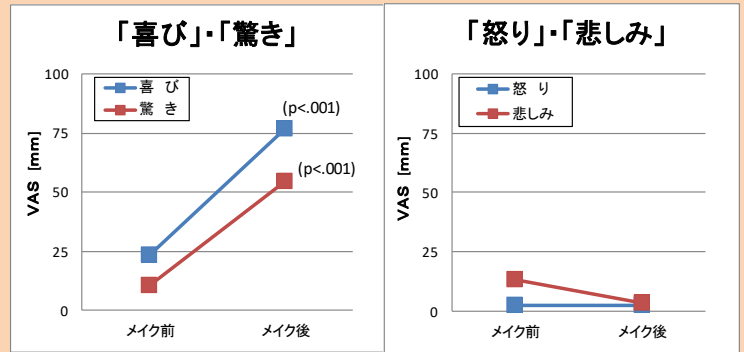


図 2. 施術者による表情の主観的印象評価 (VAS 値)

また、同時にメイク施術者に高齢者の事後の様子について主観的印象評価を求めたところ、「他者と関わろうとする意識」等において、メイク利用後の上昇が認められました ( $p < .001$ )。個人差はあるものの、概してメイク終了後に、高齢者が前向きな言動を表出していた様子が窺えました。日々関わりをもたれる施設職員の方々からの視点からも同様な評価が得られ、「綺麗になる」メイクという体験が、日常生活での快活さの維持に繋がる様相も窺えました (図 3)。その際、相手の尊厳を認める「関わり技法」などの心理的な介入を加えることで、一層の QOL の向上が期待できそうです。表出が不得意な高齢者には、鏡像を通してメイク後の姿をゆっくりと定着させる等により、穏やかな「快」を感じられる有効なメイクの提供に繋がるものと考えられます。(詳細は以下文献をご参照頂けますと幸甚です。)

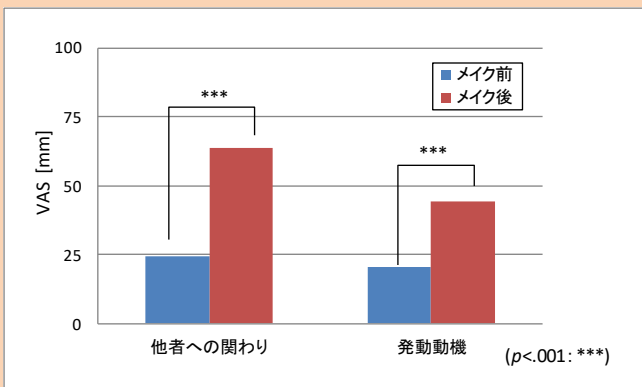


図 3. 施術者による事後の主観的印象評価 (VAS 値)

調査にご協力頂きました社会福祉法人の皆様、公益社団法人顔と心と体研究会理事長内田嘉壽子 (かづきれいこ) 先生に深く感謝申し上げます。

#### ■ 文献 ■

佐藤浩信：デバイスを用いた表情表出の測定による高齢者へのメイクアップの有効性の検討。ファッションビジネス学会論文誌 24 巻, 1-13, 2019.



# メイクボランティア 募集要項

最新の募集情報や、他エリアでの開催有無はHPをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。  
入居・・・高齢者入居型施設、通所・・・高齢者通所型施設、その他・・・障がい者施設・視覚障がい者センター等

|                  |     |                  |                                  |
|------------------|-----|------------------|----------------------------------|
| 9/18 (水) 13:15～  | 入居  | シルヴァーウイング新とみ(東京) | 東京メトロ有楽町線「新富町」より徒歩               |
| 9/28 (土) 14:30～  | 入居  | 緑の郷(神奈川)         | 小田急線「新百合ヶ丘」もしくは東急田園都市線「あざみ野」よりバス |
| 10/16 (水) 14:00～ | 入居  | グレースメイト松戸(千葉)    | JR常磐線・東京メトロ千代田線「馬橋駅」よりタクシー       |
| 10/27 (日) 14:00～ | 入居  | ベストライフ金沢文庫Ⅱ(神奈川) | 京急本線「金沢文庫」より徒歩                   |
| 9/10 (火) 14:00～  | 入居  | あおぞら(大阪)         | 地下鉄谷町線「八尾南」より送迎                  |
| 9/12 (木) 13:00～  | 入居  | 暖流(高知)           | JR「多ノ郷」より徒歩                      |
| 9/28 (土) 14:00～  | 入居  | グランダ甲子園貳番館(兵庫)   | 阪神本線「久寿川駅」より徒歩                   |
| 9/28 (土) 13:30～  | 入居  | ライトハウス光和寮(愛知)    | 地下鉄桜通線「吹上駅」より徒歩                  |
| 10/6 (日) 14:00～  | 入居  | いわき園(大阪)         | 地下鉄四ツ橋線「住之江公園駅」より徒歩              |
| 10/8 (火) 14:00～  | 入居  | おりーぶえん(広島)       | JR「広島」よりバス                       |
| 10/19 (土) 14:00～ | 入居  | ライフ・イン・京都(京都)    | 阪神京都線「桂」よりシャトルバス                 |
| 10/27 (日) 14:00～ | その他 | 稲スポーツセンター(大阪)    | 地下鉄御堂筋線「千里中央駅」よりバス               |

上記の時間は、メイク開始のお時間です。集合は記載時間の約1時間前になります。

※施設の都合等で上記日程が変更になる場合もございますので、どうぞご了承ください。(最新情報はHPでご確認下さい。)  
また、ボランティアに参加される皆様が体調不良のまま参加されると、施設の方に「命に関わる」ご迷惑がかかりますので、体調管理には十分に気をつけて下さい。

## ■ 申込～参加の流れ

<参加条件> 当法人の会員であること、および、当会主催のメイクボランティア講習会を修了していること

<申込方法> ホームページ、またはメール(info@kaokokorokarada.org)、電話、FAXにて、事務局までお申込下さい

→ 申込を受付けましたら、メールにて事務局よりご連絡いたします※

### ※<重要>

事務局からのメールが受信可能となるよう受信設定にご協力をお願いします。

定員になりましたら申込を締切の場合がありますのでご了承下さい。

メイクボランティアへのお申込みやお問い合わせをメールにてお送りいただき、事務局より1週間以上返信がない場合には一度事務局へお電話(03-3350-1035)をお願いいたします。

ボランティアの開催日が迫っている場合には、該当日の3日前までに必ずお電話いただきますようお願い申し上げます。

<当日案内> 訪問日約1週間前までに、メールにて事務局より「集合時間・引率リーダー名・緊急連絡先」などをご連絡いたしますので、確認後、必ず返信をお願いします。

## ■ 申込後に参加をキャンセルする場合

理由をそえて、前営業日の15時までに、事務局までお電話下さい。

訪問日が日曜日・祝日・月曜日にあたる場合は特にお気をつけ下さい。(例: 訪問日が日曜・月曜祝日の場合 → 前週金曜日の15時まで)

## ■ お願い

- 上記の通り、訪問には参加条件がございます。該当されない第三者のお誘いはご遠慮下さい。
- 人数が少なくなると訪問先へご迷惑をおかけしますので、キャンセルの場合はお早めのご連絡をお願いします。
- ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス等)に変更がありましたら、速やかに事務局へお知らせ下さい。

## 公益社団法人 顔と心と体研究会 事務局

Tel: 03-3350-1035 (月～金 9:30～18:00 土日祝休み)  
Fax: 03-3350-0176 (24時間受付) E-mail: info@kaokokorokarada.org

募集日程は随時更新中です。

メイクボランティアの最新情報は公式ホームページをご確認下さい。

(トップページ → メイクボランティア → 訪問予定)

顔と心と体 メイクボランティア

検索